



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社ユーザベース 上場取引所 東  
 コード番号 3966 URL http://www.uzabase.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長(共同経営者) (氏名)稲垣 裕介  
 代表者 (役職名)代表取締役社長(共同経営者) (氏名)梅田 優祐 (TEL)03(4574)6552  
 問合せ先責任者 (役職名)管理担当執行役員 (氏名)村上 未来  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	3,173	45.6	457	93.0	445	108.4	389	113.9
28年12月期第3四半期	2,178	—	237	—	213	—	181	—

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 392百万円(101.0%) 28年12月期第3四半期 195百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	26.95	24.65
28年12月期第3四半期	13.91	—

(注) 1. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できず記載しておりません。

2. 当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき3株、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	4,170	1,755	41.9
28年12月期	3,618	2,439	66.6

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 1,748百万円 28年12月期 2,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,461	44.8	500	99.2	487	116.2	364	36.5	25.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額を算定しております。

#### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年12月期3Q	14,499,372株	28年12月期	14,405,766株
29年12月期3Q	—株	28年12月期	—株
29年12月期3Q	14,442,409株	28年12月期3Q	13,083,414株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき3株、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は、平成29年11月14日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、企業収益や雇用環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調が継続しました。米国においては消費や雇用者が増加し、景気は緩やかに回復が続いており、アジア地域においては、景気は持ち直しの動きはみられるものの、中国を始めとするアジア新興国等の政策に関する不確実性による影響等もあり、先行き不透明な状況となっております。

当社を取り巻く経営環境につきましては、国内情報サービス業の売上高規模は平成28年においては10兆9,930億円（前年比1.8%増加）と5年連続で成長を続けております（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」より）。また、スマートフォンの世帯普及率は平成29年3月において69.7%（前年比2.3ポイント増）と普及が進んでいます（内閣府「消費動向調査（平成29年4月公表）」）。更に、スマートフォン広告の市場規模は平成28年において6,476億円と前年比で130.1%と拡大しています（株式会社サイバー・コミュニケーションズ（CCI）、株式会社D2C共同調査）。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は堅調に推移し、前年同四半期に比べ当第3四半期連結累計期間の収益性は向上しております。その結果、売上高は3,173,339千円（前年同期比45.6%増加）、営業利益は457,341千円（前年同期比93.0%増加）、経常利益は445,836千円（前年同期比108.4%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は389,232千円（前年同期比113.9%増加）となりました。

#### ①「SPEEDA」事業

「SPEEDA」事業においては、既存顧客による契約IDの追加及び事業会社による新規導入を中心に国内外において販売は堅調に推移いたしました。

その結果、「SPEEDA」の当第3四半期末におけるID数は1,906ID（国内1,705ID、海外201ID）となり、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は2,088,772千円（前年同期比34.9%増加）、セグメント利益は364,423千円（前年同期比40.0%増加）となりました。

#### ②「NewsPicks」事業

「NewsPicks」事業においては、サービスの知名度の向上、自社によるオリジナルコンテンツや外部メディアからの優良な記事の配信を通じて会員ユーザー数（注1）、有料課金ユーザー数（注2）共に順調に増加し、有料課金売上が増加いたしました。また、スマートフォン向けの広告サービスに対する需要も高く、広告売上につきましても増加いたしました。

その結果、「NewsPicks」の当第3四半期末における会員ユーザー数は2,665千人、有料課金ユーザー数は49,230人となり、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は1,085,466千円（前年同期比70.1%増加）、セグメント利益は92,917千円（前年同期は23,387千円の損失）となりました。

- (注) 1. 会員ユーザー数は、「NewsPicks」サービスに会員登録（簡易登録含む）しているユーザーの総数（延べ人数ではありません。）を指します。
2. 有料課金ユーザー数は、「NewsPicks」サービスに会員登録しているユーザーのうち、月額有料サービスを利用しているユーザー数（延べ人数ではありません。）を指します。なお、月額有料サービスには、プレミアム会員及びアカデミア会員があります。
3. 第1四半期連結会計期間より「NewsPicks」事業の最重要KPI（重要業績評価指標）を有料会員数に絞り、戦略の大部分を有料会員の獲得に集中させるため、これまで四半期毎に開示していた月間平均総DAU（Daily Active User）数及び月間平均会員DAU（Daily Active User）数は非開示としております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して552,557千円増加し、4,170,969千円となりました。これは主に、流動資産において現金及び預金が前連結会計年度末と比較して146,857千円増加したこと、固定資産において当第3四半期連結累計期間にのれんを121,584千円計上したこと、投資有価証券が前連結会計年度末と比較して177,645千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して1,236,432千円増加し、2,415,584千円となりました。これは主に、流動負債において買掛金が前連結会計年度末と比較して67,436千円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が前連結会計年度末と比較して101,088千円増加したこと、未払費用が前連結会計年度末と比較して103,338千円減少したこと、賞与引当金が前連結会計年度末と比較して84,108千円増加したこと、前受収益が前連結会計年度末と比較して147,302千円増加したこと、固定負債において長期借入金が前連結会計年度末と比較して886,703千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して683,874千円減少し、1,755,384千円となりました。これは主に、子会社株式の追加取得等に伴い資本剰余金が前連結会計年度末と比較して1,073,648千円減少したこと、当第3四半期連結累計期間に389,232千円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上されたことに伴い利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成29年2月10日に公表しました内容に変更ございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,096,081	3,242,939
受取手形及び売掛金	202,162	233,770
前払費用	66,340	119,313
繰延税金資産	76,571	94,484
その他	4,791	24,831
貸倒引当金	△1,040	△3,133
流動資産合計	3,444,907	3,712,206
固定資産		
有形固定資産	54,119	53,982
無形固定資産		
のれん	—	121,584
その他	7,210	9,602
無形固定資産合計	7,210	131,187
投資その他の資産	112,174	273,593
固定資産合計	173,504	458,763
資産合計	3,618,411	4,170,969

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	88,904	156,340
1年内返済予定の長期借入金	104,012	205,100
未払金	129,504	111,081
未払費用	163,820	60,482
未払法人税等	45,293	75,647
賞与引当金	—	84,108
前受収益	310,461	457,764
その他	116,758	158,752
流動負債合計	958,755	1,309,278
固定負債		
長期借入金	217,309	1,104,012
繰延税金負債	43	43
その他	3,043	2,249
固定負債合計	220,396	1,106,305
負債合計	1,179,152	2,415,584
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,303,190	1,321,535
資本剰余金	1,257,633	183,984
利益剰余金	△151,152	238,079
株主資本合計	2,409,671	1,743,599
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△159	4,930
その他の包括利益累計額合計	△159	4,930
新株予約権	—	6,854
非支配株主持分	29,747	—
純資産合計	2,439,259	1,755,384
負債純資産合計	3,618,411	4,170,969

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,178,869	3,173,339
売上原価	975,039	1,423,486
売上総利益	1,203,829	1,749,853
販売費及び一般管理費	966,828	1,292,511
営業利益	237,001	457,341
営業外収益		
持分法による投資利益	5,435	—
受取補償金	3,456	—
違約金収入	—	6,564
その他	2,909	2,543
営業外収益合計	11,801	9,107
営業外費用		
支払利息	4,990	6,388
為替差損	24,357	5,958
株式交付費	2,716	147
上場関連費用	2,795	—
持分法による投資損失	—	7,307
その他	—	810
営業外費用合計	34,859	20,612
経常利益	213,944	445,836
特別利益		
固定資産売却益	42	—
特別利益合計	42	—
税金等調整前四半期純利益	213,986	445,836
法人税、住民税及び事業税	34,478	72,213
法人税等調整額	—	△18,786
法人税等合計	34,478	53,427
四半期純利益	179,508	392,409
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,456	3,177
親会社株主に帰属する四半期純利益	181,965	389,232

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	179,508	392,409
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	15,627	2,736
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2,353
その他の包括利益合計	15,627	5,090
四半期包括利益	195,136	397,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,592	394,322
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,456	3,177

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年3月29日付で連結子会社である株式会社ニューズピックスの株式を非支配株主から追加取得いたしました。この結果、主に当該取得に伴い、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が1,073,648千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が183,984千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	「SPEEDA」事業	「NewsPicks」事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,548,886	629,982	2,178,869	—	2,178,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	8,000	8,000	△8,000	—
計	1,548,886	637,982	2,186,869	△8,000	2,178,869
セグメント利益又は損失 (△)	260,389	△23,387	237,001	—	237,001

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	「SPEEDA」事業	「NewsPicks」事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,088,672	1,084,666	3,173,339	—	3,173,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100	800	900	△900	—
計	2,088,772	1,085,466	3,174,239	△900	3,173,339
セグメント利益	364,423	92,917	457,341	—	457,341

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「SPEEDA」事業セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に、株式会社ジャパンベンチャーリサーチの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては131,442千円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は暫定的に算定された金額であります。